

東部 NN 通信

= 第 64 号 =
令和8年7月31日発行

About—

「東部NN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回発行しています。

掲載希望の情報等がありましたら当部農村振興班までご一報ください。

今後ともよろしくお願いします。

Contents—

ＪＩＣＡ課題別研修の視察受入れ	1
河南矢本土地改良区と石巻市蛇田土地改良区の 合併予備契約調印式、 東部NN 農業水利施設研修	2
東部地方振興事務所 所内研修、 東松島産桃の生育状況	3
田んぼの学校の実施状況、 農業用ため池の事故防止について	4

お知らせ



「石巻圏域の農業農村整備2025-2026」を発行しました。紙媒体の配布、[当部HP](#)で公開を行っています。

ＪＩＣＡ課題別研修の視察受入れを行いました



▲ 当部職員による説明の様子

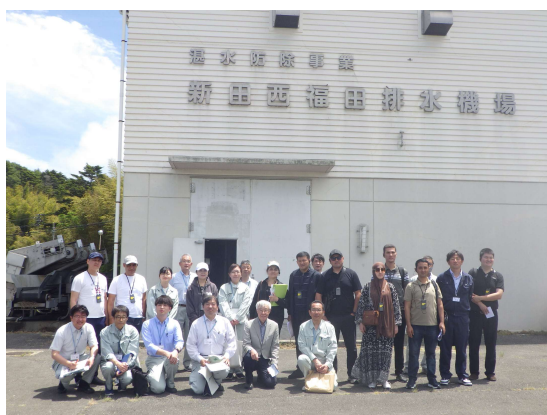
5月27日水曜日、中央アジア5か国(カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン)の研修員10名が東部管内の被災農地や農業用施設を視察しました。

本研修は農業水利施設の適切な運営・維持管理、気候変動への対応、農業従事者への技術移転などについて、計画・実施能力を強化することを目的に実施されました。

新田・西福田地区では、農村地域防災減災事業として、排水機場の長寿命化・維持管理の低減を図ることについて説明を行いました。老朽化した施設を壊して建て直すのではなく、部品の交換などの補修や更新を行うことで機能保全対策を行い、施設を維持管理する仕組みは珍しいようで、研修員たちは制度や仕組みについて学ぶ機会となりました。

大川地区では、東日本大震災で甚大な被害を受けた排水機場や周辺農地の復旧・復興状況を確認しました。震災前後の様子のパネルや、年度ごとの復興の姿の説明からは多くの質問が挙がりました。

「長面排水機場」では、排水の仕組みについて説明が行われ、興味を持った研修員からは、母国につながる課題として活発なやり取りがありました。周辺農地では農業機械が自動で耕起や種まきなどの作業を行うスマート農業が行われており、実際の機械を見ながらそうした説明も受けることができました。復興を契機としたこのような取り組みについて、研修員たちは強い関心を持ったようでした。



▲ 集合写真



農村振興課作成 実験動画「仕組み丸わかり！模型で実験
『田んぼダム～普段は田んぼ、時々ダム～』

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tanbodamu-jikken.html>



河南矢本土土地改良区と石巻市蛇田土地改良区の 合併予備契約調印式が挙行されました



▲ 合併予備調印式写真

県では、土地改良区の将来を見据えた持続可能な運営基盤の確立を図るため、組織の統合整備を推進しています。

令和8年4月22日水曜日、令和8年10月1日の統合整備に向けて、河南矢本土土地改良区と石巻市蛇田土地改良区の合併予備契約調印式が県石巻合同庁舎で挙行されました。

合併後は、新たな「河南矢本土土地改良区」として、地区面積は4,811ha、組合員数は2,311人となる予定です。

農業者の減少や自然災害の頻発化など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、また、土地改良区においても組合員数の減少や電気料金、資材価格の高騰など運営環境は厳しさを増しています。

こうした中、土地改良区の運営基盤の強化が図られることは、大変喜ばしいことであり、本県の農業施策にも大きく寄与するものと期待されます。

令和8年度 東部地方振興事務所農業農村整備部研修 「農業水利施設研修」が開催されました



▲ 鶴家排水機場

6月11日木曜日、石巻市(中津山地区)にある「鶴家排水機場」にて、農業水利施設研修が行われました。

この研修は、大雨や洪水時に周辺の湛水(浸水)被害を防止・軽減する排水機場として地域の農業生産性や安全な生活を守るための施設としての役割や重要性、維持管理の現状を学ぶ目的から実施されました。

研修では、みやぎの国営土地改良事業、国営かんがい排水事業「中津山地区」について説明の後、鶴家排水機場や排水監視システムの見学を行いました。

実際に稼働する機場を見学し、その運用状況を確認することで、農業水利施設への理解をより深めることができました。



農村振興課作成 農業用ため池における水難事故防止用啓発動画

「【ため池事故防止】まもろうね！ためいけルール」

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tameike-rule.html>



東部地方振興事務所 所内職員研修が開催されました



▲「新田・西福田地区」での研修の様子



▲オリーブ栽培の様子

7月17日金曜日、7月23日木曜日に東部地方振興事務所の各部が担当する現場の視察を行う、所内職員研修が行われました。

この研修は東部地方振興事務所の職員に向けて、東部管内の各部が持つ現状や課題を知るとともに、部を超えた交流を目的として実施されました。

7月17日は、「石巻青果花き地方卸売市場」、「みやぎ東日本大震災津波伝承館」、「石巻市水産物地方卸売市場」、「農村地域防災減災事業 新田・西福田地区」、「農地整備事業 西小松地区」、「大曲地区海岸 海岸防災林」の視察を行いました。

7月23日は、「原木しいたけ生産現場 いなかっぺきのこ」、「北上大堰」、「牧野巣揚水機場」、「デ・リーフデ大川」、「石巻市オリーブ栽培」、「農地整備事業 大川地区」、「長面浦」、「富士沼」の視察を行いました。

研修から、石巻市水産物地方卸売市場の全長がギネス記録に認定されていることや西小松地区でポテトチップス用のばれいしょの栽培が行われていること、市場流通量が3%程度の原木しいたけの栽培が石巻で行われているなどの説明をいただきました。

各部の担当現場の概要やその取り組みについて説明を受けることで、東部管内のそれぞれが受け持つ現状や課題について知ることができました。

今後は各部で連携を取りながら、研修で学んだことを農業農村整備事業の中で活かすことができるように、取り組んでいきます。

Topics

東松島市宮戸で桃の袋掛けが行われました



東松島市宮戸では震災後に設立された「奥松島果樹生産組合 いちじくの里」によって、平成28年から桃やいちじく、柿といった果樹が栽培されています。

ほ場では、「あかつき」、「まどか」、「紅錦香」の3種の桃を栽培しており、今年も6月上旬から桃の袋掛け作業が行われました。収穫は7月末頃から順次行われる予定です。

※直売所は不定期開催であり、桃の販売に関する事柄について、当部ではお答えできませんのでご了承ください。

(◀ 袋掛け後の桃)

「田んぼの学校」が開催されています



「田んぼの学校」は、多面的機能支払交付金事業の活動組織や管理体制整備推進協議会の普及・啓発活動として、管内の小学校にて毎年度開催されています。

7月時点で以下のとおり田植え体験や農業水利施設の見学会、生き物調査、出前講座などが実施されており、農業・農村について関心と理解を深める活動が実施されています。

小学校名	実施日	実施内容	主催団体
北上小学校	5月 7日木曜日 6月29日月曜日	田植え体験 生き物調査	北上地区保全会
広淵小学校	5月26日火曜日 6月30日火曜日	田植え体験 生き物調査	広淵ふるさと保全会広域協定
北村小学校	6月 9日火曜日	出前講座・生き物	北村ふるさと保全会広域協定
鹿又小学校	6月18日木曜日	出前講座	鹿又ふるさと保全会広域協定
鳴瀬桜華小学校	6月25日木曜日	生き物調査	東松島地区管理体制整備推進協議会
須江小学校	6月29日月曜日	出前講座・施設見学会	須江ふるさと保全会広域協定
前谷地小学校	7月13日月曜日	出前講座・生き物調査	前谷地ふるさと保全会広域協定



▲ 施設見学会（須江小学校）



▲ 生き物調査（北上小学校）

農業用ため池での事故防止について



小中学生の夏休みが始まったことで子どもたちが外で遊ぶ機会が増えています。農業用ため池にはネットフェンスや立ち入り禁止看板がありますが、水路やため池での水難事故が後を絶ちません。

◀▲「ため池事故防止リーフレット」
(宮城県農政部作成)

用水時期はため池の水量も多く、一度転落すると成人でもはい上がることが非常に困難です。

QRコードから
閲覧できます。

立入を禁止する看板やフェンスがある場所など危険と思われる場所には近づかないようにしましょう。



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部（編集：農村振興班）

〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地
(宮城県石巻合同庁舎4階)

Tel 0225(95)1411 (内) 2631

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>



▲ 部HP